



高校野球のマナーとルールを学ぼう (第18回)

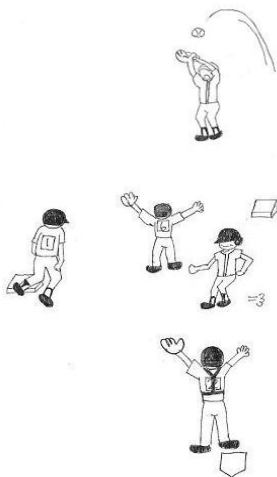


一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えしていきます。

マナー編 アウトになった打者走者が気を付けること

一死走者三塁、センターへの大きな飛球で三塁走者はリタッチから本塁への構え。捕球を見た打者は二塁手前からマウンドの後方を三塁側の自ベンチへ帰ろうとしています。プレイの邪魔にならないか気になりました。



ベンチが三塁側なので、最短に帰り道を走っただけかもしれませんが、プレイの妨害を引き起こす可能性は十分です。走塁の途中で外野手の捕球は確認できたはずですから、その勢いではなく、次のプレイから遠ざかるように一塁側へ戻れば何でもありません。プレイに対する”アウト”の宣告は、原義には”He is out (ヒー・イズ・アウト)”です。つまり、「(この時点で)彼はプレイから除かれる」を意味しています。引き続き正しい野球を進行するために、何よりもプレイの妨げや邪魔にならないこともマナーです。規則7・09(e)では、「既にアウトになった打者・走者の妨害は、そのプレイの対象となる走者への守備妨害としてアウトが宣告される」ことを規定しています。また、(f)(g)にも関連事項が記載されていますが、かく乱を狙ったプレイなど絶対にしてはならないのは言うまでもありません。なお、”ヒー・イズ(He is)”と、”ヒー(He)”が使われるのは、中立・客観視の立場から三人称を用いています。ベースボールのあるところ、万国共通に判定者の要点でもあるのです。

ルール編 塁の空過とその記録は?

二死走者二塁、打者は中越えに本塁打。二人が生還して攻撃続行と思ったのに、二塁走者が本塁を踏んでいなかったらしく、プレイ再開の後に捕手がアピールしてアウトが宣告されました。先の走者で三死ですが、本塁打はどうなるのでしょうか?

本塁空過による二塁走者へのアピールが認められたことで三死、後位の打者走者が正しく本塁を踏んでいても得点は認められません。規則7・10(b)【付記】(1)に記載の通り、踏み忘れに気付いても、**後位の走者が正しく得点する前であれば踏み直しはできません。**踏んだつもりの人や攻撃側には残念至極でも、アピールの守備側には当然の確認でした。どんな時にも確実な触塁へのベースランニングを大切にしたいものです。

なお、試合後に上記のプレイの記録について、責任教師とスコアラーから質問がありました。規則書でもわかりにくいケースです。日本野球規則委員会に確認の結果、

- ①本塁空過の二塁走者は、「三塁まで安全に1個の進塁をしている」ので、**打者の進塁打は<単打1>**(規則10・06)
 - ②**アピールによるアウトで、捕手に<刺殺1>**(規則10・09(a)【原注】)を各々の記録とする回答がありました。
- 2点本塁打を残塁1の単打と記録するのも無念です。誰もがグラウンドに落とし穴を作ってはいけません。

位置	先攻	背番	1
7	三輪	7	○
5	瀬尾	15	○
3	中島	3	○
6	穴戸	6	○
2	羽田	2	○
8	田川	8	○

位置	先攻	背番	1
7	三輪	7	○
5	瀬尾	15	○
3	中島	3	○
6	穴戸	6	○
2	羽田	2	○
8	田川	8	○

【記事】
4番穴戸の中越本塁打は2塁走者瀬尾の本塁空過による7ルアウトで単打となる

状況を記事として書いておく